
「妊孕性温存外来における CAYA 世代がん患者への薬剤師によるサポーターティブケアに関する後方視的記述研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、【埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2020年10月1日～2023年9月30日の期間に埼玉医科大学総合医療センター産婦人科の妊孕性温存外来を受診し、医師診察前に薬剤師による面談を実施した患者さん（ご家族を含む）を対象としております。

2. 研究の目的

当院では、がんや自己免疫疾患の治療により、その後の子供を授かる可能性が困難と予想される患者さんに対して、卵子・精子・受精卵・卵巣をあらかじめ凍結保存する妊孕性温存療法（がん・生殖医療）の相談を受ける「妊孕性温存外来」を開設しております。そこでは、医師の診察前に薬剤師が患者さん（ご家族含む）と面談し、妊孕性温存療法の意思決定のサポートを行っております。本研究では、薬剤師の今後活動をより良いものにするため、これまで実施した患者さんの電子カルテ情報を元に、当院における妊孕性温存療法の現状と課題について考察することを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年5月2日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

電子カルテに記載された下記情報

- ・年齢
- ・性別
- ・対象疾患（癌腫）

- ・温存実施までの治療内容（レジメン、使用薬剤）
- ・温存後に予定されている治療内容（レジメン、使用薬剤）
- ・温存実施の有無
- ・温存を実施した場合はその方法や時期
- ・温存を実施しなかった場合はその理由、妊孕性温存後の妊娠の有無
- ・紹介元施設

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である長谷川まゆみが管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

妊孕性温存外来を受診し、医師診察前に薬剤師による面談を実施した患者さんの診療記録を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部 長谷川まゆみ（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部 長谷川まゆみ

住所：〒350-1108 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

電話：049-228-3543（土日祝日を除く 9：00～17：00）

メールアドレス：hasegawa.mayumi.111@1985.saitama-med.ac.jp

○研究課題名：妊孕性温存外来における CAYA 世代がん患者への薬剤師によるサポーターケアに関する後方視的記述研究

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部 長谷川まゆみ